

市川團十郎襲名

日本の歌舞伎は江戸時代の初めから続く伝統芸能です。出雲阿国（いずものおくに）という女性が17世紀初めに京都で演じた「かぶきおどり」が始まりとされています。かぶきとは風変わりで、派手な格好や振る舞いをいいます。その新しさが人目を引き、人気になりました。江戸幕府は女性や少年の歌舞伎を禁止したので、女役も男性が演じるようになりました。歌舞伎界のシンボルといわれる役者名が市川團十郎です。高校時代に「日本史」を学んで、千両役者は市川團十郎だけと教えられたことを思い出します。

三〇〇年以上前から受け

継がれ、今年の秋十三代目が誕生しました。

顔に浮き出た隈取りのメイクをして、力強さを見せつける歌舞伎の演技を見たことはありますか。そんな荒々しい役を演じる「荒事（あらごと）」を得意とするのが團十郎です。メイクは表情や性格を強調し、赤は正義の味方、青は悪役等、色にも意味があります。スーパースターの團十郎は、演目の「暫（しばらく）」の鎌倉権五郎、「勸進帳（かんじんちょう）」の弁慶などすごい力を持つ人物が活躍する荒事を代々演じてきました。お祝いの席で團十郎が見せる「にらみ」は病気を追い払う守り神と人々から信じられていました。コロナを「にらみ」で追い払って欲しいものです。

○語彙力チェック

- ① 「月とすっぽん」の正しい意味は次のどれか。
A 似ても似つかぬこと
B 形は似ているが全然違うこと
C あまり似ていないこと
② 「憑く」という字を使うのは、次のどの場合か。
A 狐（きつね）の霊がツク。
B お寺の鐘をツク。
C ため息をツク。
③ 「付け焼き刃」のもとの意味は次のどれか。
A 何度も焼きを入れた高級な刀
B 水につけてから焼きを入れた刀
C 後から刃を継ぎ足した刀
④ 「つごもり」とは月のいつ頃か。
A 初め B 中頃 C 終わり
⑤ 「つつけどん」の意味としてふさわしいものは次のどれか。
A 乱暴 B 丁寧
C 懇懃（いんぎん）
- （解答）① B ② A ③ C ④ C ⑤ A